

神栖町立中央図書館を見学して

去る5月14日(日)「江戸崎町に図書館をつくろう会」では大人7名、子供2名の参加者で神栖中央図書館の見学に行ってきた。

図書館にとって一番忙しい日である日曜日にもかかわらず、館長さん、係長さんから神栖の図書館についての説明を伺ってから館内を見学しました。

八 - ド

全体とアプローチ

築後10年経っているという話だったがなかなかきれい。吹き抜けがきれいに感じる。

図書館と視聴覚室との間の通路が広く、ウィンドウの中にいろいろな本の紹介があるのも良かった

開架室

開架室への入り口のドアが木製で落ち着いた感じ

開架書庫のエリアは、柱や壁がないぶん開放的で、スペースを有効に生かせるようになっていました

書架

本棚は、最近の図書館はどこでもそうなのだろうが低め

一番奥の棚はかなり高く脚立がないと届かないが、脚立が見当たらない

書架によって他のエリアと区分けされているので、多少の音の遮断効果もありそうです
パソコンソフトのマニュアルの豊富さに感激(書架二つ分)

児童向けコーナー

幼児・児童書コーナーの書架は子供の目線を考えると高いように思う。またみんな差し込まれていたのを見た目の楽しさに欠けているかな

紙芝居の量の多さに驚きました。

子供向けの本も多かったです。結構充実していたのではないのでしょうか。

書架の高さが低く、小さい子供でも取り易い配慮があったように思います。

読み聞かせのスペース(?)が広く、ちょっとしたオモチャもあって小さい子供を連れてきても安心?

ブラウジング(雑誌・新聞閲覧)コーナー

雑誌コーナーが随分充実しているようでした。

AVコーナー&視聴覚室

ビデオを見ている人がたくさんいたが、スペースを広く取ってあるのか、少し離れて見えていた モニターは6台

中央のビデオ鑑賞できるスペースは、個人的にはあまり必要性を感じませんでした。ビデオに関しては、レンタルショップでは普通扱っていないような教育もの、例えば免許の更新時に見る交通安全のビデオとか(誰も見ないかな)各自治体で作ったPRビデオとか(あくまでも例えばの話です)がいいと思いますがいかがでしょう。ソファに寝そべて、見ている子供もいましたし、あまり好感はもてませんでした。

視聴覚室が見ることが出来ませんでした。必ず必要なスペースだと思います。パソコンやDVDなどを画面にディスプレイ出来る事も必要だと思います。(映画はもちろん)

和室(正確には畳敷きコーナー)

和室が6?8畳ありましたが、使い勝手が悪そうですね。一人の人で、長机を独占されそうです。やはりソファークラウンが机が少ない面積を有効に使えるそうです。

畳敷きは、うっかり穴のあいた靴下を履いてきてしまったときや、蒸れて足が臭い時のことを考えると、感心しません。茨城県内では水海道が最初に作り、評判を呼びましたが、龍ヶ崎では学生の勉強机になり、当初のゆっくり寛げるスペースという意図が外れています。

バックヤード(事務室、作業場、閉架書庫)

閉架部分はスペースを上手に使っている感じ
事務所も広がったが、仕事場が狭そう

バリアフリー

見落とししました。次の見学のときは身障者への配慮という点で見てこよう
車椅子の通りやすさ、ドアの段差、書架の間のスペース

吹き抜けと空調

ガラス張りのスペースは、明るくて良いのですが、冷暖房の効果が悪いという欠点を持っています。見学した日もいい天気ではなかったのにかなり暖かかったですよね。これから夏にかけてどうなるのか気になります。

室内の温度がタイムリーに対応出来る気配りも必要と思いました。

ソフト

BGMつき よーくきかないとわからないくらい。しかしそのおかげでか多少のおしゃべり、ざわつきが気にならない

利用者

中・高生、お年寄りの利用が少ないと言っていたが、高校の制服を着た子の利用も何人か見かけた

一組、口コミのように友達を連れてきて説明

している子もいた

利用者で、小中学生が少ないのが「文字離れ」最近のビジュアル傾向の歯止めが掛からないのがどこも共通していると思いましたが、設置場所、交通機関の利便性なども一要因ではと考えます。館長の話で出ました、佐倉市立志津図書館の例は非常に興味があります。江中の併設では?設置場所無いですね。高台で見晴らしは良いですが、将来の拡張には不向きなんですね。

お年寄りも気軽に立ち寄れて子供達との交流も出来るような場に図書館がなれば

そのほか気づいた事

目に付いたもの 子供連れの親に対しての張り紙

域外の人への、地元の図書館利用を促すもの

苦勞がしのばれる 人手不足とサービス向上のジレンマ

カフェテリアのスペースがやっぱり小さいです。

投稿箱?など中高生への配慮もありました。

感想

神栖町のバックボーン(工業都市)がなせる図書館経営で確実な収入の基での運営ただただうらやましい限りです。

財源があっても無制限ではあり得ないのでそんな中での、苦しい部分(人、サービスの対象者)が見えて図書館経営の難しさが見えた事が収穫だと思います。

もう、何年も図書館へ行っていなかったの、とても新鮮でした。本当に図書館員の方々は忙しそうでした。